**働き方改革の前提となる業務量を考慮した《業務分担試案》**

R４年11月23日

**◆　素材校：架空のP県立Q高校**

【学校概要】　Q高校は，P県の南部の都市周辺部に位置する全日制普通科高校で，１学年３学級の小規模校である。地域性も手伝って問題行動があまり目立つことは無く，生徒の4/5は上級学校等への進学を希望していて，1/5は就職希望である。例年，国公立大学に数名は進学している実績もあり，真面目に勉学や部活動に取り組む生徒が多くいる一方，意欲・活力に乏しい生徒も一定数いる。JR最寄り駅から徒歩約15分。

【教育目標等】　＊教育目標　＊3つのポリシー　＊資質・能力のルーブリックなどは制定済み

【教育課程】　学年ごとに教科28単位　　総探1単位　　LHR1単位

【教員】　校長1人　教頭1人　教諭22人　養護教諭1人　実習教諭1人　（事務室3人）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **部・学年** | **構成** | **主な業務** |
| 総務 | 主任+４名 | ＊学校経営計画等の諸計画・行事の統括　＊広報活動・外部調整　　＊国際交流　＊安全管理の統括　＊ICT整備　＊図書館運営　など　 |
| 教務 | 主任+５名 | ＊教育課程・表簿　＊時間割・日課　＊教科書・副教材＊「総探」の企画　など |
| 進路指導 | 主任+４名 | ＊進路指導方針・方策　＊諸データ作成活用・報告　＊出願の管理＊模試の実施　＊企業連携　など |
| 生徒指導 | 主任+３名 | ＊生徒指導方針・方策　＊事案個別指導方針　＊人権教育の推進＊生徒会指導　など |
| 保健環境 | 主任+３名 | ＊保健安全計画の策定・実施　＊教育相談　＊環境整備・美化＊防災・避難訓練の実施　など |
| １学年 | 主任+６名+養教 | ＊１学年の教育活動の推進　＊１学年の学級経営の推進＊１学年に係る行事等の推進　など |
| ２学年 | 主任+６名+１名 | ＊２学年の教育活動の推進　＊２学年の学級経営の推進＊２学年に係る行事等の推進　など |
| ３学年 | 主任+６名+実教 | ＊３学年の教育活動の推進　＊３学年の学級経営の推進＊３学年に係る行事等の推進　など |

**◆　校務分掌（関係分のみ）**

**分掌設定の基本的な考え方**

◇　校務部の設置は，主任の在り方・教員人数等を考慮して多くしないこと。

◇　主任は，原則的に主任業務に専念できる体制にする。（校務19人役+主任5人⇒24人役）

◇　校務部の構成人数は，業務内容・業務量を考慮して**〔人役設定〕の説明**が妥当であること。

　　⇒　「主な業務」の内容と業務量について，吟味と「見える化」が必須となる。

◇　学年の構成人数は，学級副担任について，学校状況・業務量等を考慮して学級ごととするか，

複数学級を1名で担当するかなどにより，構成数が異なる。（Q高校は学級ごと）

**◆業務・業務分担の考え方**

働き方改革の推進の前提となる年度当初の業務分担の平準化・効率化を意識して，業務と分担について，責務・業務量を考慮した業務分類を設定してみました。担当業務の職務責任の在り方や業務量の**大まかな〔目安〕**を設定することで，働き方推進における一定程度の**〔業務量等の「見える化」〕**になるものと思われます。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **分類** | **意義** | **事例** |
| 業務〔A〕 | 主な推進責務を担い，業務量も多い。 | ＊主任（校務・学年）　＊学級主担任 |
| 業務〔B〕 | 推進責務を補助的に担い，業務量も中程度ある。 | ＊分掌内分担業務推進担当＊学級副担任　　＊部活主担当 |
| 業務〔C〕 | 分担された責務を担い，業務量は少ない。 | ＊分掌内業務副担当＊部活副担当 |

**業務分担の基本形**

◇　各人ごとに**〔A〕+〔B〕+〔C〕**　or　**〔B〕+〔B〕+〔C〕**　を基本分担形とする。

　⇒　校務部・学年内での業務分担は，基本分担形を考慮して**主任が調整**する。

　　※　分掌内分担業務推進担当は複数の分担を担うことも想定されることから多忙時期などが

重ならないように年間業務計画・分担計画を「見える化」しておく。

　　※　業務分担に際しては，単独で遂行すること（孤立感）を避ける観点から，「主担当+

　　　　副担当」などの複数体制を基本とすることが大事です。

◇　Q高校では便宜的に「3分類」としていますが，教員規模も考慮しつつ，学年内業務・委員会

業務なども位置付ける場合などでは，4分類もあり得ると思われます。が，細分化しすぎると

却って設定が煩雑になり難しくなることも想定されますので吟味が必要です。